

「防災教室の取り組み」

野母地区公民館

1 はじめに

「防災教室」については、近年災害が激甚化、頻発化しており地震のみならず線状降水帯の発生による局地豪雨や台風の襲来など全国各地で次々と重大な火災が発生していること、また、令和6年1月1日には能登半島地震が発生したことを受け、今回は三方を海で囲まれている野母町は、地震による津波で大きな被害をもたらす事を考え、昨年に引き続き実施した。

2 講座内容

講座名 「防災教室」
日時 令和6年6月27日（木）13:30～15:30
場所 野母地区公民館 講堂
講師 長崎市役所防災危機管理室 防災士 井出信人
募集対象 一般住民 参加者75名（男性32名 女性43名）
内容 ◎防災講話

- ・自然災害（土砂災害、台風、地震津波など）
- ・長崎市で発生した災害について（長崎大水害など）
- ・長崎市の地形や気象の特性による発生しやすい災害（大雨及び台風による土砂災害、高潮、高波など）
- ・地震発生のしくみと長崎県の地震の特徴や対応について
- ・津波発生のしくみと長崎市の想定する津波高さ（雲仙断層群、南海トラフ）と避難対応について
- ・避難について（情報に基づく避難判断、迅速な避難実施の判断）
- ・非常用持ち出し袋（最低限必要な物の準備）



3 成果と課題

「防災教室」については、防災に対する意識を高め、更にはその意識を持続するためには必要不可欠なことで、高齢者が多い野母町には特に重要である。今回は、昨年より多くの受講者があり、防災に対する意識が高くなっていることが窺えた。今後も、避難所になっている野母地区公民館を起点に、防災、減災を発信することを継続していくためには、連合自治会との連携が必要である。

(文責 宮崎 達也)